

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催  
第4回 Documentary Linguistics Workshop (DocLing2011) 募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所は、2007年度からロンドン大学 SOAS の Hans Rausing Endangered Languages Project と連携し、Documentary Linguistics Workshop (DocLing) を開催しています。このたび、2011年2月に開催する第4回のワークショップの受講生を下記の要領で募集します。なお、このワークショップは文部科学省特別教育研究経費による「急速に失われつつある言語多様性に関する国際研究連携体制の構築(通称:言語ダイナミクス科学研究プロジェクト(略称:LingDy))」事業の一つとして開催されるものです。

記

1. 開催期間 平成23年2月18日(金)～2月24日(木)の7日間
  2. プログラム 危機言語・少数言語の記録・保存(ドキュメンテーション・アーカイビング)に焦点をあてたワークショップです。今回は主としてこの分野の基礎知識を持たない初心者を対象とし、ドキュメンテーション・アーカイビングとはどのようなものか、録音の方法論とノウハウ、写真撮影の基礎、メタデータとメタドキュメンテーション、その他の内容を扱う予定です。プログラムの詳細は、追って下記ウェブページに掲載します:<http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling.html>
- 講師: Peter Austin, David Nathan (SOAS, University of London),  
Anthony Jukes (La Trobe University),  
澤田英夫 (AA 研)
3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
(東京都府中市朝日町3-11-1)
  4. 応募資格 記述言語学分野の学生(原則として博士前期課程以上)および研究者
  5. 選考方法 応募者多数の場合は、8.の提出資料をもとに選考します。
  6. 募集人員 10名前後
  7. 受講料 無料
  8. 応募方法 以下に挙げる必要書類3点を9.の応募先あてに郵送してください。  
必要書類3点

- ① 履歴書：市販の履歴書用紙またはこれに準ずるもの（メールアドレスを明記のこと。身上書欄・写真は不要です。）
- ② 本ワークショップの受講を志望する動機（自身の研究テーマと、このワークショップとの関連など）
- ③ すでに調査経験のある方は、現在までの現地調査の経験、および、現在までの調査・研究で得た言語データの概略（例えば「単語約 1000 語の音声データ＋その転写＋英語訳」など）

9. 応募先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1  
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
共同研究拠点係  
※封書に朱書で「DocLing20011 応募書類」と明記してください。

10. 応募締切 平成 22 年 12 月 17 日（金）（当日消印有効）

11. 選考決定 受講の可否は、1月上旬までに本人あてに通知します。

12. その他 ① ワークショップ開催期間中の宿泊場所は、受講者各自で手配してください。  
② 旅費は支給されません。  
③ 応募書類は返却されません。

13. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所  
共同研究拠点係  
e-mail: kenkyu-zenkoku@tufs.ac.jp tel: 042-330-5600

以上

\* 過去のワークショップで扱った内容の詳細は、次の URL をご覧ください。

Web ページ: <http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling.html>